
















特に好調	好 調	まあまあ	やや不振	不 振	きわめて不振

部 会	10~12月 (実績)	1~3月 (見通し)	概 況
寝 装 リ ビ ング			原材料高の製品安と輸入品との価格差が問題視されている。合繊メーカーが在庫を控えた為、糸の欠品が生じ、新たにオーダーしても大部分が中国で生産されているため、国内に持ち帰るのが2~3ヶ月要すとのこと。一方、現状は変わりはないが、今後は変えていかないと企業継続は難しいとの見方あり。
織 維 フ ァ ッ シ ョ ン			市場全体に閉塞感充満でポジティブな動きは見られず、今後は素材の選択が鍵になるかとのコメントあり。資源高(原料)と末端価格(デフレ)とのギャップを何で補うかが一番の課題であり、今秋冬物で、大きく格差がつくのではとの見方あり。一部では在庫不足で生産増量との声も。
工 業			円高のため輸出契約が減少。自動車関連部品も若干落ちてきている様子。原材料高騰、販売価格低下の傾向はかわらずとのコメントあり。全業種に共通することだが、環境に適應する能力を身につけることが大事だとの声あり。
建 設			箱物の建設は全くといっていいほどないが、外装工事が増えつつある。住宅についても停滞しており、3月には倒産企業が多くなるのではとの見方あり。また、政府の施策が読めず、企業の経営方針が打ち出せないとのコメントあり。
運 輸 倉 庫			物量は増えず、運賃の見直しもなく、燃料価格の高騰で経費が増え、経営を圧迫しているとのコメントあり。数年前よりの営業努力の結果、売上増だが利益は不変である。国内の荷動きは未だに悪い状態だが、輸出处の貨物の出荷量が増加しているとの声あり。
金 融 理 財			相変わらずリーマンショック以来の状況であり、努力の結果、平均的に横ばいが続いている様子。手数料(報酬)が自由化され、ホームページで各事務所が表示しているが、差別化をはかるためには、クライアントの元に足を運び、どう結びつけるかが鍵である。
一 般 商 業			消費の節約傾向が続いているが、エコポイントのようなきっかけがあれば売れる。時代の流れか「本物」を知らない人が増えているように思う。消費者にとって何がよいものなのかも変化しているため、よいものをつくっても売れず、考え方を変え、どのような付加価値をつけるかがポイントである。との声あり。
サ ー ビ ス 業			売上は減少しているが仕入はそのまま。商品の質を落とすと顧客離れがおこる可能性があるため、値上げも出来ず利益は圧迫されている。年始めが特に寒く出足が悪いとの声あり。事業主とお客さんの高齢化と、この不況で後継者に継がせれず廃業を余儀なくされている個店もある様子。